

PC建協第13回定時総会を開催

令和7年5月15日に東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で第13回定時総会を開催しました。同日開催の理事会では、退任の稲田義行氏（ドーピー建設工業(株)）と樋口靖明氏（日本高圧コンクリート(株)）に代わり、八木橋浩隆氏（ドーピー建設工業(株)代表取締役社長）、鈴木洋一氏（日本高圧コンクリート(株)代表取締役社長）が新たに理事に選任され新体制となりました。

また、総会後には懇親会を開催し



▲ 懇親会で挨拶する堤会長

ました。来賓には国土交通副大臣の古川康衆議院議員、佐藤のぶあき参議院議員、国土交通省より廣瀬昌由技監、山本巧道路局長をお迎えしました。今回の出席者数は約400人となり、会場は終始活気に満ちていました。

けんざか茂範氏、参議院議員選挙(比例代表)に初当選

令和7年7月20日に行われた第27回参議院議員選挙(比例代表)で、PC建協が職域代表として推薦していたけんざか茂範氏(元国土交通省近畿地



▲ けんざか参議院議員と堤会長

方整備局長)が22万に迫る票を獲得し、上位にて初当選を果たされました。

9月11日にけんざか茂範氏ご本人がPC建協本部に来訪され、同日開催の理事会前に、当選御礼のご挨拶を頂きました。

発注者との意見交換会が始まる

令和7年6月13日開催の国土交通省道路局との意見交換会を皮切りに、全国の発注者(各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、高速道路(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構)との意見交換会が始まり、9月上旬までに、北海道開発局、沖縄総合事務局、北陸地方整備局、近畿地方整備局、九州地方整備局、中国地方整備局、関東地方整備局および西日本高速道路(株)との意見交換会が終了しました。

《PC建協からの提案(国土交通省)》

1. 年度工事量の安定的な確保

① 年度工事量の安定的・持続的な確保

② PC新設の新規プロジェクトの創生

2. 働き方改革の推進

① 完全週休2日(土日+祝日)の更なる推進

② 総労働時間の削減

③ 技能労働者の処遇改善

3. 生産性向上の推進

① プレキャスト化の推進

② ICT活用の推進(BIM/CIM活用)

③ ICT活用の促進(新技術促進)

4. PC橋の長期保全の推進

① ECI方式の推進

② 地方自治体への支援要請

5. 機能性向上と構造デザイン性を有するプレキャストPC建築の推進

① 官庁営繕・土木営繕の計画にプレキャストPC造を推進

② プレキャストPC造の採用を加速する選定フローの採用

功労表彰・学会賞 受賞

● 令和7年建設事業関係功労者等

国土交通大臣表彰

森拓也氏、森内昭氏

PC建協副会長である森拓也氏(ピーエス・コンストラクション(株)代表取締役社長執行役員)とPC建協理事である森内昭氏(㈱IHインフラ建設代表取締役社長)が、令和7年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞されました。

森氏はPC建協理事を令和2年から現在に至るまで勤めていただいております。令和4年から2年間は会長を、また、令和2年から2年間及び令和6年

から現在まで副会長を務めていただいています。
森内氏はPC建協理事を令和2年から現在に至るまで務めていただいています。



建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰
森 拓也氏



建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰
森内 昭氏

●令和6年度土木学会賞 田中賞
業績部門 春日昭夫氏 三井住友建設(株)エグゼクティブ・フェロー

PC橋における新しい構造形式の設計・施工技術の開発とその国際展開への貢献に対し授与されました。春日氏は早い段階から国際的な活動に尽力し、令和3年・令和4年に欧米人以外で初めて国際コンクリート

連合(fib)会長を務めた際は、世界的な潮流を捉えてコンクリート分野における脱炭素の方針を表明し、コンクリート構造における持続可能性への貢献の考えをいち早く示しました。



令和6年度土木学会賞 田中賞
春日 昭夫氏

第32回PC建築技術講習会を開催

「第32回PC建築技術講習会」を令和7年7月11日に東京会場(港区・建築会館)での対面形式とオンライン形式の併用開催およびオンデマンド配信で開催しました。参加者は、事前登録制で約1000人の登録がありました。

各講習の演題(建築物)と講師は次のとおりです。

(1)「(仮称)石垣市クルーズターミナル琉球ホテル&リゾート名城ビーチ」
『石垣市におけるクルーズターミナルの設計・施工—PCaPC造



▲PC建築技術講習会の様子

- による島の新たなエンタランス』
(南)アトリエ・門口 砂川佳久、(株)建造設計 伊良部明
(2)「荷揚複合公共施設」
『PCaDT板による快適な執務空間の実現』
(株)久米設計 福田光俊、田中敬
(3)「明治大学生田キャンパス センターフォレスト」
『意匠・設備・構造計画の調和をPC技術で実現した大学校舎』
(株)日建設計 大場彬史
(4)「中央区立晴海西小学校・中学校」
『PCa技術で実現するあたらしい街のランドマーク』
(株)石本建築事務所 原健一郎、榎原由紀子

第15回PC建協業務報告会を開催

令和7年7月17日に東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で「第15回PC建協業務報告会」を開催しました。今回は約130人の参加がありました。報告会では各委員会からの発表及び各支部の活動報告をパネル展示しました。

当日の発表は次のとおりです。

- (1)PC技術相談室の現状と対応状況
(2)既設PC橋の複合劣化に対する予防保全型メンテナンスに関する共同研究(中間報告)
(3)PC建協会員各社のICT活用促進事例紹介
(4)「プレストレストコンクリート構造物の補修の手引き」(外ケーブル工法 実例図集) 2025年3月の発行
(5)グラウト・品質パトロールの活動状況

春日昭夫三井住友建設(株)エグゼクティブ・フェローより「PC橋のカーボンニュートラルへの取り組みについて」と題した特別講演をいただきました。

PC技術専門家を派遣

PC建協では多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家派遣事業を展開しています。

（関東支部）

令和7年7月4日に足利大学工学部創生学科3年生20人を対象に「鉄筋コンクリート工学『プレストレストコンクリート橋について』」と題した授業を行いました。当日はPC橋の概要と緊張実演を行いました。

（北陸支部）

令和7年5月29日に富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科3年生29人を対象に「PCについて」と題した授業を行いました。当日はPC構造の仕組みや作り方についてイメージしやすくなるように模型を用いた座学と緊張実演を行いました。

（関西支部）

令和7年5月29日に神戸大学工学部市民工学科の3年生62人を対象に「コンクリート構造学」と題した授業

開催日	支部名	学校名
4月28日、5月12日、19日、6月2日	中部	名古屋工業大学工学部
5月7日	関東	芝浦工業大学工学部
5月13日	中国	広島工業大学工学部
5月23日	関東	長野工業高等専門学校
5月29日	中国	岡山大学工学部
6月9日	関西	明石工業高等専門学校
6月16日	関東	東京都市大学建築都市デザイン学部
6月26日	九州	長崎大学工学部
6月27日	関東	東海大学建築都市学部
7月1日	北陸	金沢大学理工学域
7月7日	九州	大分工業高等専門学校
7月7日、14日	九州	佐賀大学理工学部
7月8日	北陸	長岡技術科学大学環境社会基盤工学課程
7月9日	関東	国士舘大学理工学部
7月9日、23日	関東	東洋大学理工学部
7月9日、23日	九州	九州大学大学院工学研究院
7月10日	関東	信州大学工学部
7月11日	関東	東京電機大学理工学部
7月14日	九州	琉球大学工学部
7月23日	九州	宮崎大学工学教育研究部
7月25日	中部	愛知工業大学工学部
7月25日	九州	九州工業大学大学院工学研究室

を行いました。当日はPC構造の応力計算の演習や施工方法や使用資材などを説明しました。

その他、令和7年4月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は左上のとおりです。

現場見学会を開催

現場見学会が各地で開催されました。

（北海道支部）

令和7年7月17日に北海道栗山町の日本高圧コンクリート(株)栗山工場および長沼町く栗山町間の道道恵庭栗山線馬追橋架替工事(上部工)の工事現場で北海道科学大学工学部都市環境学科2年生と教員42人を対象とする現場見学会を実施しました。本橋は橋長311mのPC7径間連結コンボ桁橋で架設工法は架設桁架設工法(日本高圧・ドーピーJV)です。

（中部支部）

令和7年6月11日に愛知県設楽町の設楽ダム瀬戸設楽線5号橋PC上部工事の工事現場で名古屋大学工学部環境土木・建築学科の学生35人を対象に現場見学会を実施しました。本橋は橋長384mのPC3径間連

続ラーメン箱桁橋で架設工法は片持架設工法(㈱安部日鋼工業)です。

その他

- ・7月7日、28日 昭和コンクリート工業(株)揖斐川工場、東海環状自動車道大須ヶ洞第三橋他2橋(PC上部工)工事現場 名古屋工業大学 46人
- ・6月27日 (株)日本ピーエス敦賀工場 阪神高速道路(株)若手職員など 16人
- ・7月11日 阪神高速道路(株)震災資料保管庫 PC建協会員企業の若手職員など 22人

各地でPC技術講習会を開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

（中国支部）

令和7年7月1日に岡山市北区の岡山県建設技術センターでの「令和7年度建設業従事者研修橋梁保全Ⅱ(上級)(主催：(公財)岡山県建設技術センター)」の中で、県や市町村の職員など48人を対象に「コンクリート橋の主な損傷と対策事例」と題した講義を行いました。

その他、令和7年4月以降に実施され

たPC技術講習会は次のとおりです。

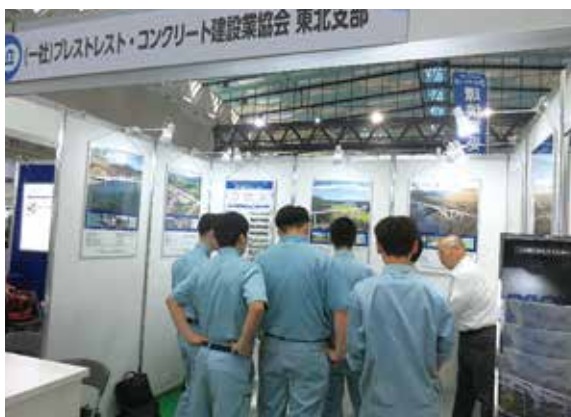
開催日	支部名	講習会	主催・共催	人数
4月24日	東北	令和7年度第1回橋梁アセットマネジメント担当者会議	青森県県土整備部道路課橋梁・アセット推進グループ	32人
4月24日	東北	令和7年度第1回技術講習会	(NPO) 秋田道路維持支援センター	91人
5月20日	関東	令和7年度第1回橋梁メンテナンス技術研修会	埼玉橋梁メンテナンス研究会	83人
7月4日	九州	令和7年度橋梁維持管理研修	(公財) 宮崎県建設技術推進機構	24人
7月31日	東北	令和7年度建設技術基礎研修(橋梁編)	(公財) 山形県建設技術センター	43人

令和7年度EE東北'25に出展

(東北支部)

建設事業の新材料や新工法などの展示会「EE東北'25」が令和7年6月4日と5日に仙台市のみやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」で開催されました。

今回は過去最多の1万8300人の来場者があり、PC建協東北支部は「プレキャストPC技術の活用推進によつて労働力不足を補う」と題して出展しました。



▲PC建協ブースの様子

第34回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム開催のお知らせ

(公社)プレストレストコンクリート工学会は「第34回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」を令和7年10月23日と24日に福井県福井市の「フェニックス・プラザ(福井市民福祉会館)」で開催します。詳細は(公社)プレストレストコンクリート

リート工学会ホームページをご覧ください。
<https://www.jpcci.or.jp/>

全国から開通情報

(九州支部)

国道10号単人道路(単人東IC)加治木IC、4車線化完成

令和7年6月15日に鹿児島県の国道10号単人道路単人東IC(加治木IC(延長7.3km)の4車線工事が完成しました。この完成により、さらなる安全性の向上に加え、災害時の代替路確保、救急搬送時のリスク低減、地域産業の活性化などが4車線化による整備効果として見込まれています。

霧島市の単人農村環境改善センターで催された式典には自治体などの関係者が約100人出席し、テープカットなどでこの完成を祝いました。

その他

- ・岐阜県道118号及び愛知県道135号羽島稲沢線新濃尾大橋・取付道路
- ・兵庫県道9号豊岡竹野線 城崎大橋(本誌19ページ『PCのニューフェイスたち』参照)
- ・和歌山県国道42号 冷水^{しずみ}拡幅・有田海南道路(海南市・冷水)

編集委員会

荒瀬 美和(編集委員長)、石井 一生(副委員長)、
吉山 誠之(副委員長)、湯山 芳夫、黒木 信秀、鈴木 裕二、
松井 敏二、堀 重伸、大塚 俊介、牧 哲史、太野垣 泰博

編集部会

荒畑 智志(部会長)、武藤 浩美(副部会長)、木村 良輔(副部会長)、
瀬戸 裕一郎(副部会長)、園田 健児、河野 雅弘、喜多 俊介、三輪 祥大、浅野 真人、
畑中 俊樹、福井 大樹、中田 清博、直井 秀市、小林 晃一、渡邊 絵美、吉野 正道

編集後記

今回のルボは、2005年日本国際博覧会(通称愛・地球博)から20年を迎えた愛知県を取材しました。

万博開催に合わせて整備された中部国際空港セントレア・東部丘陵線リニモ・高速道路の橋梁達が、玄関となり、足となり、盛り上がりの基礎となりました。今でも多くの人たちの生活や観光を支えているPC技術に、深い敬意を抱きます。まもなく閉幕を迎える大阪万博ですが、新たに作られ、整備されたPC建造物に思いを馳せながら見学に行くのも一興かと思えます。また当時の展示物を、現在もいろんなところでみることができます。優雅にモーニングで一日を始め、柳橋中央市場や大須商店街で食べ歩き、ひつまぶしに舌鼓を打ちながら、愛・地球博の名残のある観光地を巡るのも旅の面白さだと思います。

「よくわかる!PC基礎講座」ではUコンボ橋の紹介をしております。

「PCのニューフェイスたち」では2024年度に誕生した15作品を紹介しております。今号はPC橋の撤去工事が紹介されております。橋梁をはじめ、建築、補修補強部門と併せて、PC技術の魅力をお伝えできれば幸いです。

(福井)